

# 令和4年度 地方創生推進交付金等を活用した事業の実施状況

交付金名称	事業名	事業期間	事業概要	取組内容	総事業費(円)	交付金額(円)	事業の進捗状況(交付金事業完了後の取組状況を含む) (令和5年3月末現在)		本事業の重要業績評価指標(KPI)				令和5年度以降の方針
							内容	内部評価	指標	【令和4年度増分】 上段:目標値 下段:実績値	累計(令和4年度まで) 上段:目標値 下段:実績値	事業効果	
地方創生推進交付金	陸前高田市持続可能な地域経済基盤構築プロジェクト	令和2年度～令和4年度	「地域経済循環に関する調査分析及び周知活動」、「地産地消の戦略的推進」及び「地産外商の戦略的強化」の事業を通じて、人口減少を迎える中においても持続可能な地域経済基盤の構築を目指す。	・地域経済循環に関する調査分析及び周知活動 ・地産地消の戦略的推進 ・地産外商の戦略的強化	17,000,000	8,275,850	・地域経済循環を促進するため、市内で地場産品を使用している飲食店の認証制度や若年層及び子育て世代を対象とした地産地消の理解促進に係る取り組みを実施した。 ・地産地消を理解してもらうため、地元高校生を対象とした教育プログラムを提供した。 ・地産外商を進めるため地場産品のブランド化に向けた商品開発、販売及び情報発信を実施した。	C. 計画より遅れている	① プロジェクト参加店舗における産食率(気仙地域産食材品目数÷食材品目数(総合計))	10%	15%	③ 地方創生に効果があった	令和5年度以降においては、民間事業者での取り組みが主となり、継続的に同様の取り組みを実施していくこととしている。
										1%	4%		
									② "地消地産"の推進に資する新規事業数	3件	6件		
										0件	2件		
	③ 市外における地場産品の新規販売拠点数	2拠点	6拠点		0拠点	3拠点							
	④												
地方創生推進交付金	自動運転サービスの活用による高田松原津波復興祈念公園等における伝承活動促進事業	令和4年度～令和6年度	自動運転サービスの実装により、市民や市内外の事業者や団体等の伝承活動参加への障壁を緩和することで、より効果的・効率的な伝承活動を促進し交流人口の拡大を図る。	・未来技術社会実装事業計画策定及び支援等 ・高田松原津波復興祈念公園内における自動運転走行実証実験	84,351,658	42,175,829	・「陸前高田市未来技術地域実装協議会」を設立し、実証実験に向けた計画策定を実施した。 ・高田松原津波復興祈念公園内において、自動運転サービスの実証実験を9月と1月～3月に実施した。 ・自動運転の実証実験にあたり、パークガイドの同乗便を設定することで、より効果的な伝承活動について検証を行った。	B. 概ね計画どおり進んでいる	① 自動運転車両利用者数	1,000人	1,000人	③ 地方創生に効果があった	令和5年度においても協議会を開催するとともに、9月に自動運転の実証実験を行ったが、技術的な課題や実装後のランニングコスト等を精査した結果、現時点での実装は難しいと判断し、令和6年度の交付金の活用及び令和7年度の実装は見合わせることにした。
										1,466人	1,466人		
									② 観光客入込数	800,000人	800,000人		
										1,200,000人	1,200,000人		
	③ 自動運転サービスの実装による誘致企業及び新規企業・創業数	1事業者	1事業者		2事業者	2事業者							
	④ 転入者	450人	450人		416人	416人							

【事業効果 凡例】  
 ① 地方創生に非常に効果的であった  
 ② 地方創生に相当程度効果があった  
 ③ 地方創生に効果があった  
 ④ 地方創生に対して効果がなかった